

巡回展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」実施報告書

記入日: 令和6年12月17日

館名・団体名	向井千秋記念子ども科学館
部署・担当者氏名	事業係・浅見すみれ

1. 開催概要

開催期間

令和6年11月9日(土) ~ 令和6年12月15日(日)

開催日数: 26日

展示会場広さ (展示会場平面図があれば、別途添付してください)

約95㎡

開催の様子 (写真)



○関連イベント

市制施行 70 周年記念講演会「教えて！ イグおじさん！『イグ・ノーベル賞』ってなに？」



2. 開催にあたって

開催までのながれ（設営・撤去における対応スタッフ数）

	令和6年11月1日	展示物搬入
令和6年11月7日	～ 令和6年11月7日	設営(4人)
令和6年11月9日	～ 令和6年12月15日	開催
令和6年12月15日	～ 令和6年12月17日	撤去(4人)
令和6年12月17日		展示物搬出

内容および運営上の工夫があればご記入ください

- ・ノーベル賞受賞者に関わる本の紹介コーナーを設置しました。
- ・来館者に資料をすべて見て回っていただけるよう、「はじめ」「おわり」の表示と進行方向を示す矢印の表示を設置しました。
- ・展示スペースの広さの都合により、すべてのパネルを配置することが出来なかったため、研究者紹介のパネルのみを展示しました。

展示物に対する来場者の反応はどうでしたか

- ・パネルの文章中の漢字にはルビがふってあり、子どもが一人で見る事が出来るようになっていました。展示会場の近くで行われる他のイベントに参加する小学生とその保護者が、イベントの前後に展示に見入る様子を多く見ました。

3. 広報について

広報方法(チラシ等のデータがあれば、別途添付してください)

チラシ(別途添付)、公式ホームページ、公式 X、広報館林、市内小中学校へのポスター配布、記者資料

*この報告書やチラシ、写真は国立科学博物館の web にて紹介させていただきます。

国立科学博物館巡回展



1949年の湯川秀樹博士のノーベル物理学賞受賞以来、科学分野ではたくさんの日本人研究者がノーベル賞を受賞しています。この巡回展は受賞者とその研究をパネルと関連資料で紹介します。



ノーベル賞を受賞した 日本の科学者



2024 11/9 (土) → 12/15 (日)

場所 / 向井千秋記念子ども科学館 3階多目的スペース

主催：館林市教育委員会 向井千秋記念子ども科学館
 共催：独立行政法人 国立科学博物館
 協力：一般社団法人 全国科学博物館振興財団

